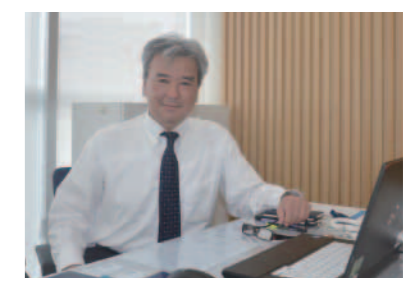


和歌山から全国へ データ活用発信!!



和歌山県データ活用推進センター
中内啓文センター長

和歌山県 データ活用 推進センター

和歌山市東蔵前丁3-17
南海和歌山市駅ビル5階
☎073-488-2430

県データ活用推進センターでは、統計データ活用センターの取組を支援するとともに、行政課題に関する研究や、データ分析・処理することができる人材育成に取り組みます。

また、統計手法を用いたデータの分析・活用方法について、民間企業や自治体からの問合せにも対応しておりますので、お気軽にご相談ください。



データ活用する人材を育成

県ではさまざまな取り組みを通じて、データ活用に関する次世代の人材育成をめざします。

データ活用 コンペティションの実施

全国の高校生・大学生を対象にさまざまなデータ分析・客観的証拠に基づく施策提案を募集するデータ活用コンペティションを開催します。

2月10日に開催した「第1回 和歌山県データ活用コンペティション最終審査会」では、第一次審査を勝ち抜いた高校生部門5チーム・大学生部門5チームの計10チームのプレゼンテーションによる最終審査が実施され、大賞、優秀賞、奨励賞を決定しました。



第2回 和歌山県データ活用コンペティションの募集テーマが決定!

高校生の部では「高齢者が活躍できる社会づくり」をテーマに、大学生の部では「Uターン就職・若者の定住促進」をテーマにアイデアを募集します。

募集期間: 9月3日(月)から10月16日(火)

インタビュー

和歌山県データ活用推進センター
中村良平顧問(岡山大学大学院教授特任)

従来の統計情報やインターネット上で取得できるデータに加え、行政が保有する貴重なデータを研究に活用することができれば、新しい研究分野や新しい発見が生まれることが期待できます。

例えば、高齢者がより元気に過ごすためにウォーキングが盛んになった場合に、より歩きやすいウォーキングシューズのニーズがどの程度生まれるか、そのための新しい素材の研究にどの程度投資されるかなど、各産業への波及効果が明確になれば、幅広い産業振興策の立案につながります。

さらに、県内企業や医療機関などからもさまざまなデータを収集して、データ活用の成功事例を積み上げていくことをめざします。



統計出前教室の実施

県庁調査統計課では、小学生・中学生を対象とした出前授業を実施しています。学校などに出向き、児童生徒の皆さんにデータやグラフを通じて、ふるさと和歌山を知っていただくとともに、統計の利用により、わかることなどについて解説します。



統計調査にご協力を

正確な統計を得るため、統計調査員が調査対象となった世帯や事業所を訪れ、調査の説明や調査票の配布・回収・点検などを行います。調査対象となったときは、統計調査員の訪問や統計調査(国勢調査、工業統計調査など)の実施にご理解とご協力をお願いします。

国勢調査
日本に居住するすべての人を対象に、年齢・世帯・就業・住宅などを調査

工業統計調査
事業所の従業員数・現金給与総額・原料使用額・製造品在庫額および出荷額・付加価値額などを調査

調査の内容について説明する統計調査員

